



国際ロータリー 第2780地区  
伊勢原ロータリークラブ週報

2015  
5  
2016



- R I 会長
- 地区ガバナー
- 会長
- 幹事
- 会報委員長

- K.R. “ラビ” ラビンドラン
- 田中 賢三 (茅ヶ崎 RC)
- 仲西 栄治
- 東井 重和
- 土屋 美幸

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 (12:00より食事)  
例会場 伊勢原市石田350 (株)アマダ内 フォーラム246

☎0463-96-3711

事務局 ☎259-1131 伊勢原市伊勢原 1-2-2 横浜銀行伊勢原支店内

☎0463-92-5777 Fax0463-95-5313 mail: rclisehara@gmail.com

第2442回 例会

平成28年5月25日(水) 曇り

点 鐘

仲西栄治 会長

手に手つないで

ロータリーソング

四つのテスト(村上一秋会員)

司会・進行

村上 一秋会長エレクト

会長報告

- ・学童部夏季野球大会開会式参加  
伊勢原 RC からの優勝旗返還
- ・熊本地震寄付金報告  
伊勢原駅前北口・南口 103,378 円  
例会場 96,000 円  
①熊本西 RC 経由 500,000 円寄付  
②地区経由 57,000 円寄付  
寄付金額 ①+②=557,000 円  
クラブ支出 357,622 円
- ・6月22日(水) 新旧ガバナー補佐訪問 I・Mのお礼も兼ね、幹事、会計6名訪問  
皆様例会出席 宜しくお願い致します。
- ・スマイル目標残り30% ご協力宜しくお願い致します！

今後の予定

6/8	第2444回	卓話：土屋 修君
6/15	第2445回	卓話：小泉 隆一郎君
6/22	第2446回	クラブ協議会



幹事報告

- 伊勢原観光道灌まつり実行委員会より  
第49回伊勢原道灌まつり第1回実行委員会開催についてお知らせが届いております。  
6月10日(金) 午後3時~ 伊勢原市民文化会館 欠席返信6/3迄
- 伊勢原市商工会より 第41回大納涼まつり開催に関するお願いが届いております。
- 伊勢原市交通安全対策協議会より総会資料が届いております。
- 伊勢原中央 RC 例会変更のお知らせ  
5月30日(月) → ソウル国際大会に振替 6月6日(月) → 夜間例会「肉料理の一番や」18:30点鐘

😊 スマイル報告 外谷 正人 スマイル委員長代理

仲西 栄治君	今日は5月最終例会です。残すところ後1ヵ月、宜しくお願いします。スマイル目標に到達しません。宜しくお願いします。
東井 重和君	市川さん卓話ガンバって下さい。
田村 貴寿君	外谷さんスマイル頑張ってください！I Love You チャオ！
奥様誕生祝い	小山 博正君▶奥様誕生のお祝いありがとうございます。このおかげで毎年お誕生日を忘れずにすむことができます。遅れてすいませんでした。
結婚祝い	外谷 正人君▶結婚記念日を祝って頂きましてありがとうございます。この場でしか祝ってもらえないので、本当に嬉しく思います。来年も祝ってもらえる様に奥さんに忠実に生きていきます。

<b>創立祝い</b>	添田 博充君 ➡ 24歳で開業してから8395日経ちました。思えば精神をすり減らし、心もからだもギリギリのところまで戦う日々の連続でした。これからも戦い続けます。 田中 徹君 ➡ 創立記念を祝って頂きありがとうございます。昨年事務所を開設したので今年は11月になります。 山田 昌樹君 ➡ 創立記念をお祝い頂きありがとうございます。8年目を迎え障害について考える毎日です。
<b>スマン</b>	吉川 芳郎君 ➡ 横浜で総会があるため早めに退出します。市川さん卓話が聞けず申し訳ありません。 東 学君 ➡ 本日早退します。スマンです。外谷ちゃん初のスマイル読み宜しくお願います。ガンバッテ下さい。市川先生すみません。

おめでとうございます



**出席報告 内田 智久 出席委員長代理**

会員数	出席計算に用いた数	出席者数	出席率(%)	前々回修正出席(%)	事前 MUP 松下 孝君 ➡ クラブ奉仕委員会・ふじさわ湘南 RC 創立 15 周年記念式典、祝賀会・クラブ幹事事務局研修 萩原 庸嘉君 ➡ 次 AG と地区副幹事連絡会議 小泉隆一郎君 ➡ 伊勢原中央 RC 井戸川秀治君 ➡ 伊勢原中央 RC 堂前 慶之君 ➡ 財務管理 書類保管説明会 田中 徹君 ➡ 財務管理 書類保管説明会 クラブ幹事 事務局説明会 東 学君 ➡ クラブ幹事 事務局説明会 社会国際奉仕委員会 事後 MUP 小山 博正君 ➡ 青少年交換ホストクラブオリエンテーション
57	53	34	64.15	71.69	

**委員会報告**

**萩原 庸嘉君：米山奨学委員長**

先程、サウシからメールが入りまして、スペインの学会からの招待状がまだ届かないそうです。原本が届かないと、ビザがおりないという事で、彼女は非常に今悩んでいます。私たち日本人は普通インターネットで参加者名簿に載ってれば、そのまま大使館に持って行って、ビザが下りるはずですが、やはりお国柄ですか？色々難しいみたいで。そのような状況ですので、ビザ申請には三週間必要ですから、ひょっとしたら今まで振り込んだ、旅費から何から全部無駄になる可能性がある、彼女は非常に悩んでいます。とりあえず緊急にこのような連絡が入りましたので、何方か外務省とかヨーロッパに力がある方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介頂きたくお願います。以上です。よろしくお願致します。



**卓話 市川 正孝君 「自己紹介」について**

本日は卓話として自己紹介をさせていただきます。私は 2013 年の 1 月に伊勢原ロータリークラブに入会させていただきましたので、すでに 3 年過ぎていますので今さらという感じもあります。今まで 2 回の卓話をさせていただきましたが、1 回目は風疹の流行が問題になっているときで、小児科医としてはこのことを話さなければという思いに駆られました。2 回目はちょうど錦織圭君が全米オープン準優勝した後だったので趣味のテニスの話をしてしまいました。それで今回は遅まきながら自己紹介をさせていただきます。

私は昭和 33 年(1958 年)3 月 21 日、(旧)静岡市生まれです。戌年の牡羊座で、血液型は B 型です。父は横浜市立大学出身の産婦人科医で、生後しばらくは横浜に住んでいましたが、幼稚園の頃からは(旧)静岡市で育ちました。中学からは市内にできたばかりの中高一貫の男子校の静岡聖光学院に 2 期生として入学しました。静岡聖光学院は横浜にある聖光学院の姉妹校(中学・高校では唯一)で、日本平のある山の中腹にある学校です。ちなみに高校野球などで有名な福島の聖光学院は名前は同じですが関係はありません。

1 年浪人後の昭和 52 年(1977 年)に日本大学医学部に入学しました。大学時代は硬式テニス部と音楽バンドのサークルに入っていました。硬式テニス部の同級生には、4 年前に天皇陛下の心臓手術を執刀した天野篤君(現順天堂大学心臓血管外科教授)がいました。硬式テニス部では 6 年生で出場した夏の東日本医科学生総合体育大会で 3 位となり銅メダルを獲得しましたが、6 年時の大会出場は 1 学年下の幹部学年から依頼があったら出場する習わしでした。この年は私と天野君の 2 人が出場を依頼されたのですが、天野君は「夏休みは病院実習に行くから大会

なんか出られないよ」と言い参加しませんでした。それで私だけが出場し銅メダルが取れていい思い出になりましたが、今から考えるとその時の少しの差が30年たった大きな差になったのかと思っています。

昭和58年(1983年)に順調に6年間で大学を卒業し、医師国家試験も合格し、日本大学板橋病院小児科に入局し小児科医として働き始めました。日大板橋病院では同じ年に他病院から移ってきて新生児集中治療室(NICU)に勤務していた現在の妻との出会いがあり、昭和61年(1986年)6月に結婚しています。

入局1年後に大学からの出向で埼玉県春日部市立病院に1年間勤務しました。そこで初めての学会発表(小児科埼玉地方会での症例報告)で「ポリオ生ワクチン接種後のポリオ様まひの1例」という発表をしました。これはおそらくはポリオの生ワクチンによりポリオを発症してしまうという非常にまれですが起こりうる副反応だったと思われました。日本では50年位前からのワクチン接種によりポリオの患者さんはほとんどいませんで、近年はポリオを診療したことがある小児科医はほとんどいないわけですが、このような経験をした後にポリオの撲滅に協力しているロータリークラブに入会できたことは何かの縁を感じました。

その後大学病院に戻り、小児科内での専門を決めるときに、アメリカのUCLAに留学し骨髄移植などの勉強をして帰国した、のちに日大の教授になる麦島秀雄先生が骨髄移植を始めることとなり、その先進的な治療でそれまでなかなか治らなかつた病気が完治できるようになる魅力にひかれ、小児の血液と腫瘍疾患(白血病や小児がんなど)の診療を専門としました。その中でも最も先進的な治療として、小児がんの中でも最も治りにくい病気の一つである進行神経芽細胞腫に対する自家骨髄移植に際し、骨髄に混入している恐れのある腫瘍細胞を鉄を含んだビーズを付けた腫瘍に対する抗体で捕まえて、強力な磁石を用いて除去するという治療を行っていました。

平成2年(1990年)に実家の事情などがあり大学を離れる形で静岡県立こども病院血液腫瘍科に勤務することになりました。静岡に移った後にちょうど無菌室を整備することになり静岡こども病院でも本格的に骨髄移植に取り組むことになりました。前述の進行神経芽細胞腫に対する自家骨髄移植も行いましたが、静岡で採取した骨髄を新幹線に乗って東京の大学まで持っていき、腫瘍細胞を除去した後に大学で凍結保存してもらい、骨髄移植の当日に東京から静岡に凍結したまま送ってもらい、静岡で溶解して移植を行おうということをしていました。

また当時、家族以外の非血縁者からの骨髄移植のために名古屋を中心として東海骨髄バンクが始まっていましたが、静岡も東海地区の一部ということで協力していたこともあり、私が担当していた進行悪性リンパ腫の再発した男の子に対して非血縁者間骨髄移植を行い移植は成功して退院することができました。この移植が静岡県内では初めての非血縁者間骨髄移植ということで静岡新聞に取り上げられました。この記事が静岡県骨髄バンク連絡協議会(という名前だったと思います)を立ち上げるきっかけになったと聞きました。また個人としても新聞に取り上げられ、その反響にも少し驚きました。

その後いろいろ事情があり平成5年(1993年)より埼玉県立小児医療センター血液腫瘍科に勤務し、平成9年(1997年)4月に東海大学小児科へ移ることになり伊勢原での生活が始まりました。平成12年(2000年)からは大学からの出向で伊勢原協同病院小児科勤務になりました。協同病院に勤務してからはインフルエンザなどの感染症の臨床研究を行うようになりました。そして10年前の平成18年(2006年)2月に伊勢原市内東大竹、大磯街道沿いに、市川こどもクリニックを開業しました。インフルエンザなどの臨床研究は開業後の現在も続けています。

伊勢原に移ってからのことで当日話し忘れていたことがあります。まず私には息子が2人いて、小学校時代に少年野球をすることになったのですが、次男の同級生に松下さんの長男が学年のエースとしていました。それが松下さんとの出会いでした。実はその頃息子たちは2人とも不登校で、平日は学校に行かず休日の少年野球では学校に行くという変な行動をしていたのですが、少年野球の子供たちも保護者の方たちもそのことについては温かく見守っていただきました。そのことでまた登校を再開できるようになったと思っています、とても感謝しています。

それから協同病院に勤務していた時に開業を考え出したのですが、やはり開業場所などが決まるまでには時間がかかりました。この開業に全面的に協力していただいたのが飯田隆三さんの会社でした。当日にお礼を申し上げようと思っていたのですが、うっかりして失念してしまいました。この場をお借りしてお礼を申し上げたいと思います。

最後に私の特技?を紹介させていただきます。それは安い服を着ていても安く見られないことが多いことです。ただその裏返して高い服を着ていても高く見えないということもあり、それに気づいてからは高い服を買う意欲がなくなりました。まあどうでもいいことですが、私の服についてはあまり詮索しないでください。つたない卓話でしたがご清聴ありがとうございました。



市川こどもクリニック